

# ドローンインパクトチャレンジ レギュレーション

2015/9/22

レースを開催するにあたり、競技の公平性、安全性、娯楽性をより高めるため、以下の通りレギュレーションを設定する。

- ・**競技者**は、参加受付期限までに**主催者**への申し込みを行い、承認された場合に参加資格を得るものとする。
- ・**競技者**は、申し込み時に参加予定機体が下記レギュレーションに合致していること或いは合致する予定であることを確認の上、**主催者**に申告する。
- ・競技参加予定機体は当日レギュレーション審査を受け、申告と相違ないか確認する。
- ・申し込み後、競技参加予定機体に変更があった際はレギュレーションに合致しているかレース当日再度審査を行い、合致していない場合 **主催者**は**競技者**に改善を行うよう指示し、指定時刻までに改善がなされない場合失格とする。
- ・大会の運営に支障をきたすような事象が確認された場合、**主催者**は**競技者**或いは**参加者**に改善を求めることが出来る。改善しない場合、参加資格をはく奪または会場からの退去を命ずることが出来る。
- ・**競技者**及び**参加者**が競技資格或いは参加資格を失った場合、これに基づく参加費の返還等は一切ないものとする。
- ・レギュレーション内容に矛盾、支障等が発生した場合、当日も含め**主催者**の判断と**競技者**との合意の上、レギュレーションを変更することが出来る。

	NO	クラス	マスタークラス FPV部門	レギュラークラス nonFPV部門
コース	1	使用コース	マスタークラスコース（別紙記載）	レギュラークラスコース（別紙記載）
機体	2	機体種別	レギュレーション③～⑨に合致した自作機体またはそれに準ずる機体	レギュレーション③～⑨に合致した自作機体またはそれに準ずる機体
	3	サイズ	モーター軸間 305mm以下 機体最大長 330mm以下	特に制限なし
	4	ローター数	3～6	3～8
	5	ローターレイアウト	飛行に危険を伴わないこと	飛行に危険を伴わないこと
	6	プロペラ	直径6インチ以下で素材が高硬度でないこと。 (純カーボンプロペラは不可) ピッチ制限なし	特に制限なし
	7	モーター	2400kv以下 スラスト角が付いたモーター及びモーターマウントの使用は不可	特に制限なし
	8	重量	飛行に危険を伴わない重量	特に制限なし
	9	動力源	3S LiPoバッテリー 3000mAh以下 C値制限なし 但し、コース3周(総距離3km程度)を完走できること 参考:2200mAh 20C AUW(総重量)550gの場合 約4.8km 5-11分 :1300mAh 45C AUW(総重量)480gの場合 約4.0km 3-8分	特に制限なし
操縦電波	10	操縦電波	日本国内にてラジコンに使用の許可されている電波送信機(プロボ)は技術基準適合証明等を受けた機器に限る(技適)	日本国内にてラジコンに使用の許可されている電波送信機(プロボ)は技術基準適合証明等を受けた機器に限る(技適)
FPV	11	FPV 周波数	5705MHz、5740MHz、5780MHz、5800MHzの4波のいずれかを 使用する（やむを得ない場合を除き、主催者側が指定した周波数 へ適時変更できることが望ましい）	必要なし
	12	FPV 出力	600mw以下であること	必要なし
	13	無線局免許	使用するFPV用送信機は、操縦者自らの個人局、或いは属する社団局にて、無線局免許開局済であること	必要なし
保安	14	捜索及び記録装置等	機体発見用ブザー、映像記録装置の搭載を推奨 GPSの搭載を推奨	必要なし
競技者	15	取得資格	第四級アマチュア無線技士の操作範囲の資格を有すること	必要なし
	16	操縦技能	コースを周回させることを安定して行えること	目視にてコースを周回させることを安定して行えること
	17		FPV映像の消失、又は混信の際に安全に保持或いは着陸が出来ること	－
その他	18	競技ルール	コースアウトの判定、ペナルティは、コース、大会ごとに設定する	コースアウトの判定、ペナルティは、コース、大会ごとに設定する
	19		設定高度を越えた場合のペナルティは、コース、大会ごとに設定する	設定高度を越えた場合のペナルティは、コース、大会ごとに設定する
	20		目視での機体判別方法は、コース、大会ごとに設定する	目視での機体判別方法は、コース、大会ごとに設定する
	21		－	ファントムとパロットは安全を考慮してプロペラガードを付ける事